

第六次総合計画 施策評価シート（令和3年度）

1-⑧

施策

学校，コミュニティ，家庭が連携し，子どもの健全育成を推進する

担当部局

教育委員会

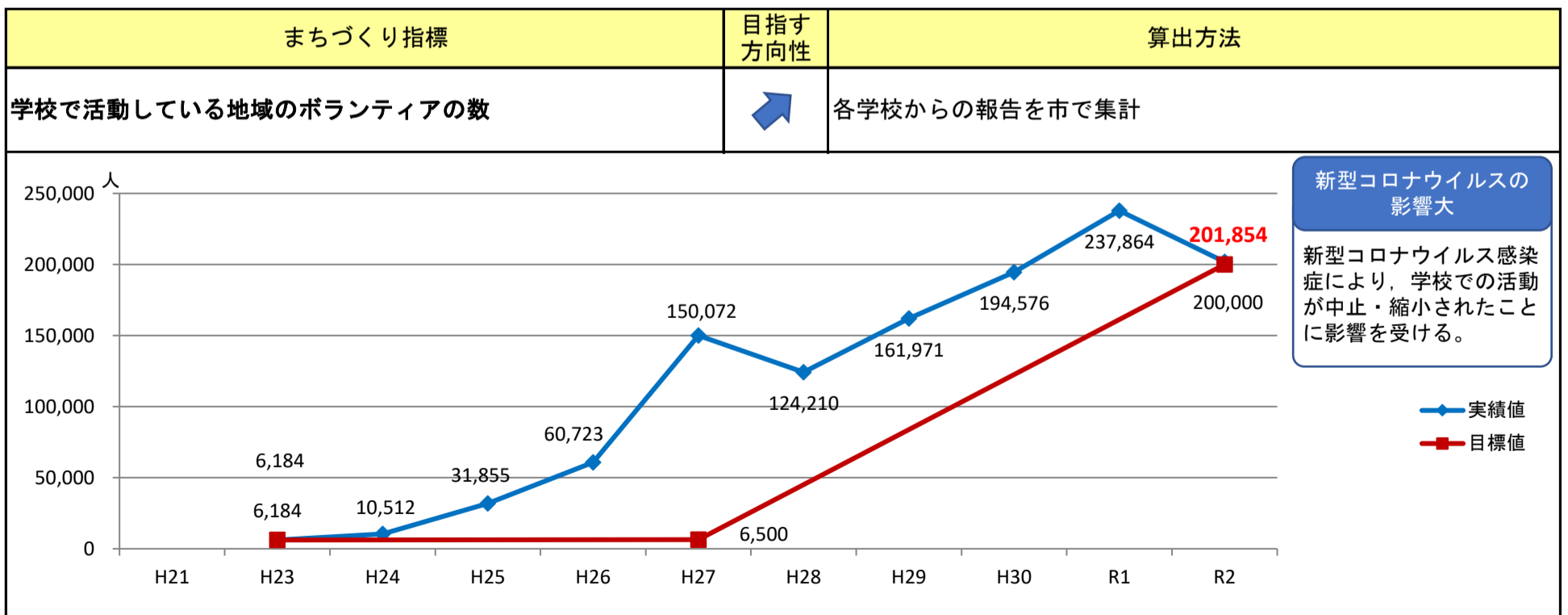
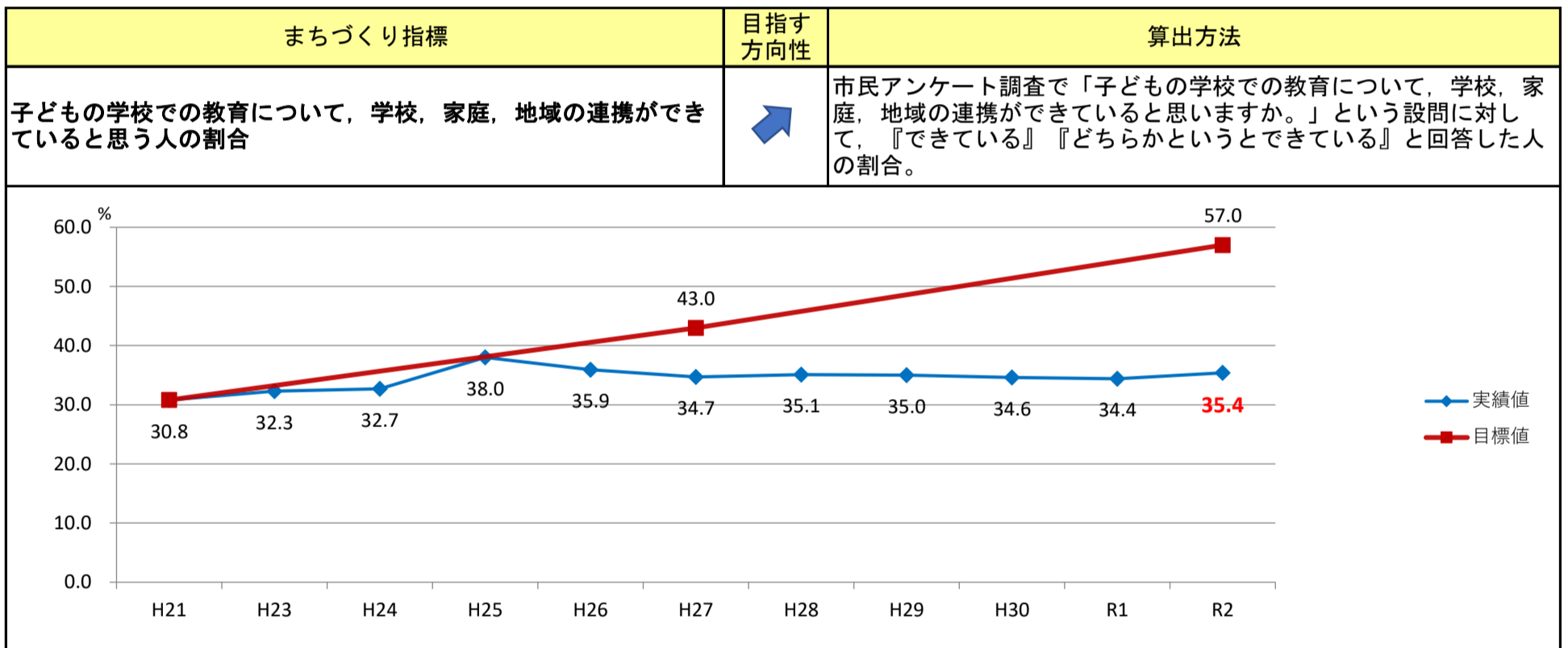


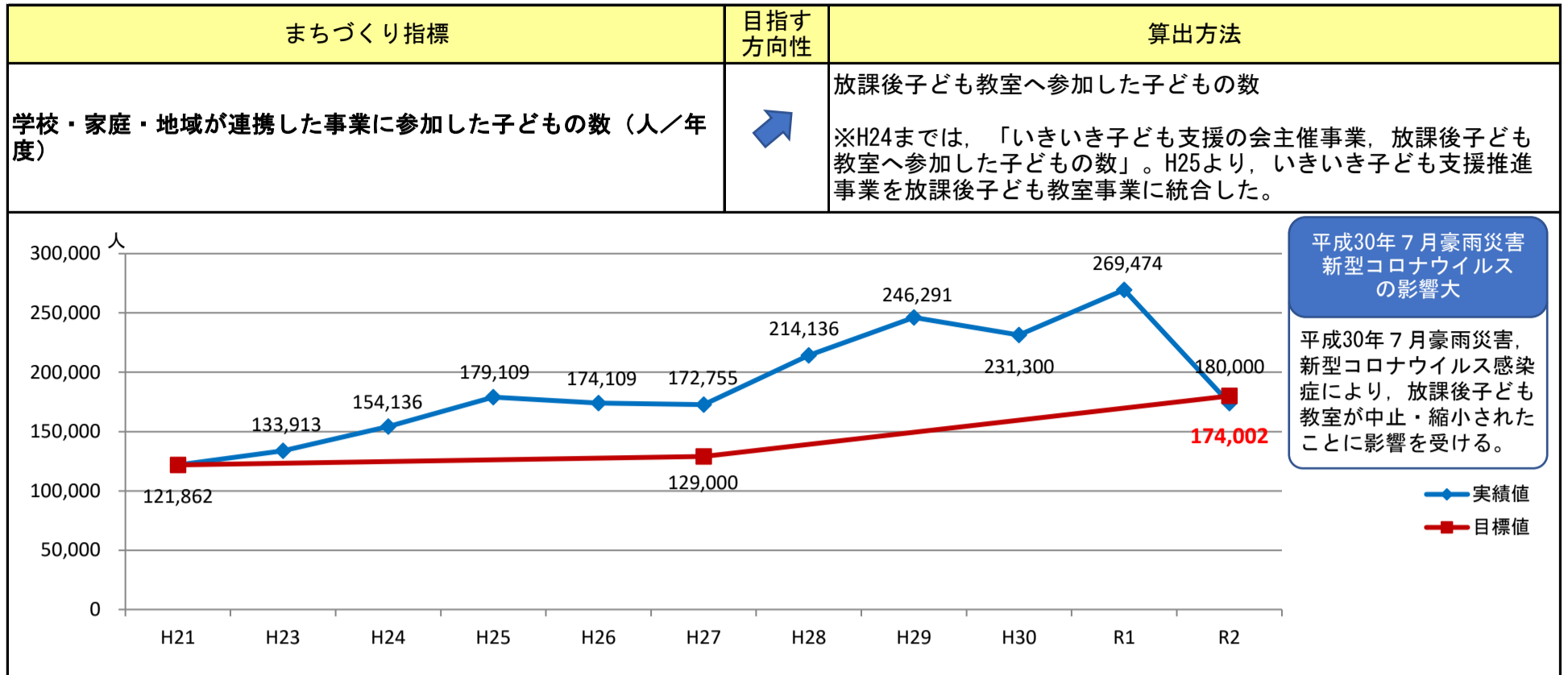
【はぐくみ】 めざすまちの姿 学校，コミュニティ，家庭が連携して，子どもが学び，成長できる環境となっている

市の基本方針

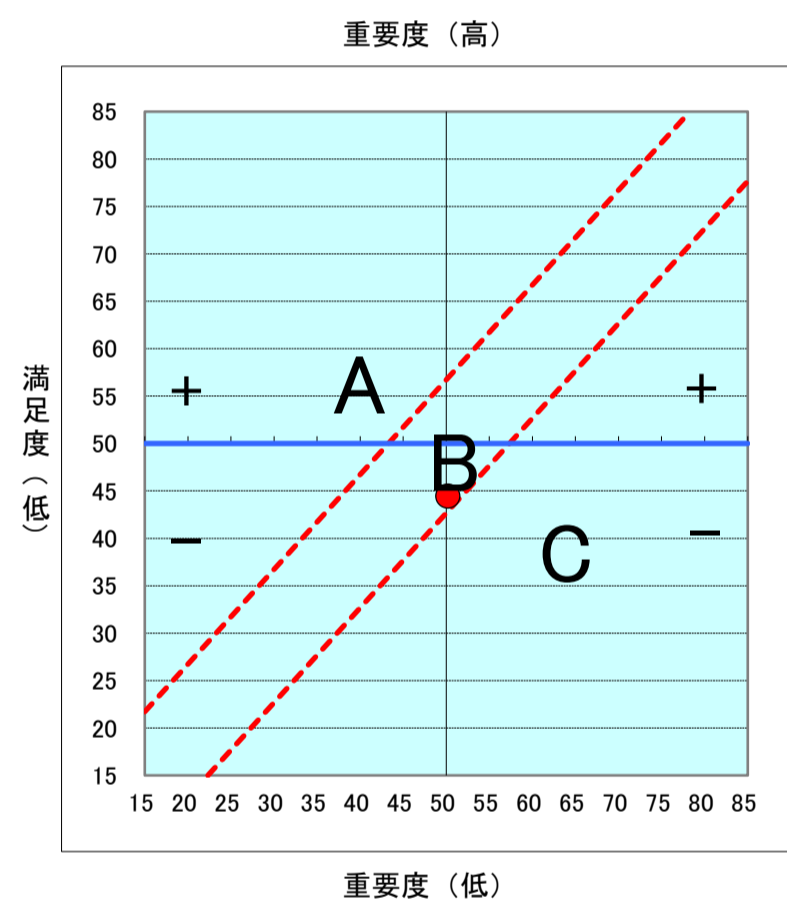
- 地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりを進めるため，地域ボランティアやボランティア活動の総合的な調整役を担うコーディネーターの養成に努めるとともに，効果的な学校支援活動を実施し，地域と学校の一体感を醸成します。
- 学校や地域の活動の中で，子どもたちが地域の歴史・文化を学んだりスポーツを楽しんだりする機会を推進し，地域に対する理解と地域住民との交流を深めることで，子どもたちの地域の一員としての自覚と誇りをはぐくむとともに健やかな成長を支えます。
- 放課後や週末等に小学校の余裕教室などを活用し，地域住民と子どもたちが一緒になって行う，学習やスポーツ，文化活動，地域住民との交流活動などを支援します。
- 家庭，学校，地域，関係機関や団体等と密接に連携し，青少年の健全育成施策を推進します。

数値目標





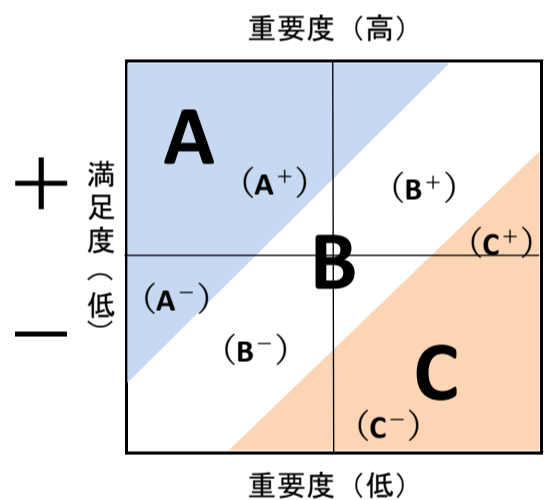
市民の重要度・満足度（R3.5アンケート調査結果）



| 領域 | 偏差値 | |
|----------------|-------|-------|
| | 重要度 | 満足度 |
| B ⁻ | 44.43 | 50.20 |

●重要度に見合った満足度が得られている（B）
●重要度が平均値より低い（-）

【グラフの見方】



- A：重要度に見合った満足度が得られていない領域
 - B：重要度に見合った満足度が得られている領域
 - C：重要度に見合う以上の満足度が得られている領域
- ※ 以上の3つの領域を、さらに2つに分割（3×2領域）
- +：重要度が平均値より高い部分
 - ：重要度が平均値より低い部分
- A⁺, A⁻, B⁺, B⁻, C⁺, C⁻
- A⁺：重要度が高く、その重要度に見合った満足度が得られていない領域

施策を推進する主な事業の評価

| 区分 | 事業名 | 目的(Ⅰ)／令和2年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ) | R2年度 決算額 (千円) |
|----|---------------------|---|---------------------|
| 創 | 地域連携による学校支援事業(再掲) | (Ⅰ) 地域住民による学校支援活動を推進し、地域の教育力の向上と活性化を図る。 (Ⅱ) 小学校区49か所、中学校区20か所、支援学校区1か所、高等学校区1か所で、事業を実施した。ボランティアとして6,042人の地域住民の方が、延べ201,854人学校支援活動に参加した。 (Ⅲ) 地域の教育力の向上と活性化を目指し、実施校区の拡充や学校支援体制の構築・維持を図る等、継続して実施する。 | 39,892 |
| | 「生きる力」支援事業 | (Ⅰ) 不登校及びその傾向にある子どもたちの「生きる力」の育成を目的とする。 (Ⅱ) 地域社会との接点として開設した「居場所」には、延べ266人が参加した。また、不登校を考える「保護者の集い」を年7回開催し、延べ39人の参加があった。さらに、体験の場を提供することを目的に、8月と9月に「さわやかデー」を実施し、17家族36人の参加があった。 (Ⅲ) 受託団体と協議しながら、継続して実施する。 | 1,058 |
| | 子ども会支援事業(再掲) | (Ⅰ) 子どもたちを心豊かにたくましく成長させるために活動している「倉敷市子ども会連合会」の支援を目的に実施した。 (Ⅱ) 健全な子どもの育成を目的とした子ども会運営のため、補助金を交付し活動を支援した。主な内容は、集団指導者養成講習会、球技大会、スポーツフェスティバル、子どもフェスティバルなどの活動を支援した。 (Ⅲ) 活動内容の見直しを行いながら、継続して実施する。 | 2,096 |
| | 放課後子ども教室推進事業(再掲) | (Ⅰ) 空き教室を活用し、地域住民の参画を得て、子どもに向けた様々な活動を行う。 (Ⅱ) 63小学校区で実施。実施日数は、合計2,219日、子ども延べ174,002人とボランティア延べ12,092人が参加した。 (Ⅲ) 必要に応じて活動内容を見直し、継続して実施する。 | 5,358 |
| | 青少年健全育成団体支援事業(再掲) | (Ⅰ) 青少年健全育成関係団体を支援し活動の活性化を図る。 (Ⅱ) 市内26中学校区青少年を育てる会が実施する、青少年健全育成事業や家庭教育推進事業に要する経費に対し、補助金を交付した。各中学校区で実施する家庭教育講演会には、4,067人が参加した。 (Ⅲ) 青少年健全育成活動の振興のため、関係団体と連携を取りながら、継続して実施する。 | 9,069 |
| | 青少年健全育成推進大会実施事業(再掲) | (Ⅰ) 広く市民に青少年健全育成への意欲関心を高める機会を提供する。 (Ⅱ) 第43回倉敷市青少年健全育成推進大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したが、講演会のみ少人数で行い、その様子をテレビ放映した。また、講演会等を収録したDVDを各中学校区青少年を育てる会及び関係者へ配布した。 (Ⅲ) 青少年健全育成活動従事者や市民のニーズを取り入れながら、継続して実施する。 | 444 |
| | 青少年育成センター非行防止活動事業 | (Ⅰ) 青少年の非行防止と健全育成を図るため、街頭補導や相談活動を実施した。 (Ⅱ) 補導員による街頭補導を年間258日実施し、1,247人を補導した。相談は、電話・メール・来所相談を実施し、相談件数は746件であった。列車補導や学校警察連絡協議会等の青少年健全育成活動を行い、関係機関との連携を深めた。 (Ⅲ) 非行防止、不審者対策、環境浄化活動、相談等、地域と協力しながら継続して実施する。 | 54,839 |